

2017 産学交流企画活動内容報告

和泉孝嗣（青年部会）

青年部会では平成 19 年度から島根大学、松江工業高等専門学校との産学交流企画（10 回目）を開催しており、今年度も学生達と技術士で活発な意見交換が行われました。

1 日時

2017 年 12 月 9 日（土） 10 時半～17 時

2 場所

島根大学総合理工学部 3 号館 多目的ホール

3 概要

本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な以下のような能力を学生に身につけさせることを目的としています。

- (1) 理論的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力
- (2) 科学・技術・情報を利用して社会のニーズを解決するデザイン能力
- (3) 与えられた条件下で計画的に仕事を進め、まとめる管理能力

4 参加者（合計 37 名）

参加者は島根大学 3 年生、松江高専 5 年生、技術士を班長として、参加者を 5 班に分けて企画を進めていきました。今年度は島根大学地域未来研究センター、松江高専だんだん技術士会（技術士の高専OB会）の共催も得て行いました。

（内訳：技術士 19 名、島大 3 年生 10 名、高専 5 年生 4 名、先生 4 名）

5 企画内容

班別に分かれ、午前中は課題解決手法の講義と社会人への相談、午後は課題解決を行いました。

(1) 第 1 部（社会人への相談タイム）

学生の社会人への疑問・質問に技術士が答える。当日は事前に用意した質問に技術士が回答するという形で進めていきました。

※学生にも「島根（地元）で働きたい？働きたくない？それはなぜ？」という逆質問もしてみました。

(2) 第 2 部（課題解決「島根のイッピンをメジャーにするには？」）

各班で考えた全国にオススメしたい「島根のイッピン」をどうやって

メジャーにするか検討する。最終的には iPad を使って各班 5 分間ずつプレゼンしてもらう。(午前中の課題解決手法の講義を踏まえて！)

6 各班の課題解決案

前述の課題を解決するため、各班は 2 時間半の制限時間内で企画案の取りまとめ、プレゼン資料の作成を行い、プレゼンに望みました。

基本的には、プレゼン資料作成や発表を学生が担当し、技術士は課題解決の方法を指導する等の役割を担いました。

(1) 各班解決案

- | | |
|----------------|---------|
| 1 班 ポポー | (美郷町) |
| 2 班 石見神楽 | (県西部地区) |
| 3 班 しまねっこ | (島根県) |
| 4 班 八重垣神社「鏡の池」 | (松江市) |
| 5 班 島根の吉田君 | (島根県) |

(2) 審査結果

- | | |
|---------------|-------------|
| 参加者が選ぶ「聴講賞」 | … 1 班 (最優秀) |
| 先生方が選ぶ「優秀賞」 | … 5 班 |
| アイデア最高「アイデア賞」 | … 4 班 |



photo1
今年度の課題(テーマ)



photo2
iPad(Keynote)でプレゼン

7 感想

課題解決では、「メジャーにする」という課題について、『YouTube』が大部分の班で提案されるなど時代に敏感な学生の考えを知ることが出来ました。

午前中に行った「社会人への相談タイム」は昼休みまで話が続く班もあり、少しでも学生の不安が解消されたかなと思いました。また、技術士からの逆質問「島根で働きたい・働きたくない」の学生からの回答は、技術士にも参考になったと思います。

8 その他当日の様子



Photo3
班別での課題解決の様子



Photo4
参加者全員集合(閉会后)